

ペダルなし二輪遊具

(ランニングバイク、トレーニングバイク、キッズバイクなど)
による子どもの事故に**注意!**

～子どもの安全を守るために～

幼児の乗り物型遊具「ペダルなし二輪遊具」は、自転車に乗る前の幼児がバランス感覚を養える遊具として人気ですが、ペダルがなく、ブレーキのないものがほとんどのため、思わぬ事故につながる可能性があります。

取扱説明書や本体の注意表示を確認して安全に利用しましょう。



1 道路では使用しない

この遊具は、ペダルがないため、道路交通法で定められた自転車※ではありません。歩行者や自転車との接触・衝突などの危険性があるばかりでなく、自動車との大きな事故につながることもありますので、交通のひんぱんな道路での使用はやめましょう。

2 坂道など危険な場所では絶対に使用しない

坂道や段差などのある危険な場所での走行はやめましょう。

3 ヘルメットを着用する

転倒した場合の頭部への衝撃やケガを減らすために、幼児用ヘルメットやプロテクターを着用しましょう。

4 子どもだけで遊ばない

必ず保護者が立ち合い、子どもから目を離さないようにしましょう。

※ ペダル又はハンド・クランクを用い、かつ、人の力により運転する二輪以上の車で身体障害者用の車椅子等以外のものをいいます。

坂道や道路での ペダルなし二輪遊具の 事故に注意!



ペダルなし二輪遊具は、幼児用自転車に似た形状をしています。基本的にペダル及びブレーキが付いておらず、乗車した幼児が自身の脚で加速と減速を行う二輪の遊具です。しかし、坂道などで滑走して速度が速くなると、幼児の脚では減速できず、転倒や衝突してけがを負うことがあります。

2019年度から2024年12月までの5年余りに、医療機関ネットワークには、幼児が屋外でペダルなし二輪遊具で走行中に発生した事故事例が**101件**寄せられていました。なかには、**道路で自動車**に接触する事例も見られました。

🔍 ペダルなし二輪遊具の事故事例の再現

10°の坂道で10m滑走した際の速度

10°の坂道で10m滑走した場合、速度は一般の自転車と同等の約**16km/h**となりました



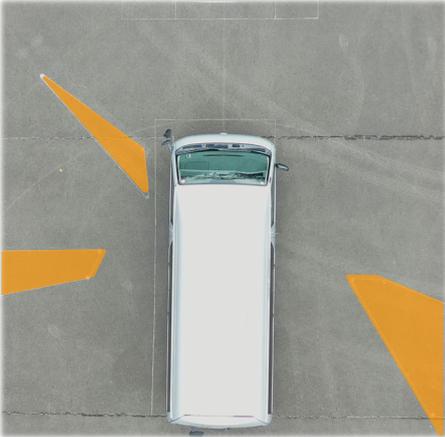
坂道で転倒及び衝突した事故事例の再現

坂道で転倒及び衝突した場合、**幼児タミーの頭部**が路面や金属製の柵に強く衝突し、**ヘルメットが損傷**することがありました



自動車からのペダルなし二輪遊具の見え方

自動車の周囲には幼児タミーが乗車したペダルなし二輪遊具を視認できない範囲があることが分かりました



灯色の範囲では運転者からペダルなし二輪遊具を視認できませんでした

※テストに使用した車両は事故事例とは関係ありません。

自動車と接触した事故事例の再現

条件によっては**自動車の運転者**が、**周囲にいるペダルなし二輪遊具**を視認できずに、**接触事故**が起きる可能性があることが確認されました



自動車とペダルなし二輪遊具が接触

※テストに使用した車両は事故事例とは関係ありません。

⚠️ 消費者へのアドバイス

- ① 保護者は**取扱説明書の内容を確認し**、**使用が禁止されている場所**では**使用させない**ようにしましょう
- ② **坂道を滑走してしまった場合**、傾斜によっては短い距離でも**一般の自転車と同等の速度**になります。**坂道**では**使用させない**ようにしましょう
- ③ **両脚のかかとがしっかりと着地**することを確認して、**ヘルメット等の防具**を着用させるようにしましょう
- ④ 子どもだけで**使用させず**、**必ず保護者等が立ち会い**、子どもから**目を離さない**ようにしましょう
- ⑤ **自動車の周辺**では**使用させない**ようにしましょう

